

地域安全防災研修会

職員研修

有志指導者研修

要請研修

地域のつながりや命を守るという視点から地域防災について学ぶこと、避難所運営上の留意点や方法を学ぶことを目的として研修会を開催しました。地域防災に関心のある県及び市町村の生涯学習・社会教育関係者、地域づくり団体やNPO 法人関係者、学校関係者 27名が参加し、岩手の復興教育・防災教育や東日本大震災の教訓を生かした避難所運営の仕方や持続可能な社会を実現させる地域づくり等について学びました。

復興・発展を支えるひとづくりを目指して



桂 康博 先生

岩手県教育委員会事務局 学校教育室 産業・復興担当 桂康博主任指導主事から『いわての復興教育』と『防災教育』について、学校教育での復興・防災教育の理念や取り組み事例、「いわての復興教育」プログラムの変遷や3つの教育的価値である「いきる」「かかわる」「そなえる」に関わる具体的項目等について、各地域での事例を交えてご説明いただきました。受講者からは、「学校と地域が一体となって『いわての復興教育』を推進することの重要性を確認できた」「学校でどの様に復興教育に取り組んでいるのかがわかった。子どもたちに防災教育を行うことの大切さを改めて感じた」等の感想が寄せられました。

東日本大震災の教訓を生かした避難所シミュレーション



千川原 公彦 先生

ウェザーハート災害福祉事務所 代表の千川原公彦氏から、「防災・減災講座やイベントの企画の事例提供」、演習「DIG バーチャルマップ」「再開の時系列マップ」のご指導をいただきました。研修会直前に起きた「山形県・新潟県の豪雨被害」の普及活動時の話や、これまでの先生ご自身の豊富な経験談や実際に岩手で起きた災害をもとに作られたカードなどを使い演習を行いました。



受講者からは「地域の防災意識を高める手立てとして学ぶことができた」「先生方の話・演習に加え、ワークショップでいろいろな人の話を聞くことができて、とても参考になった」「自分が暮らす地域の課題を見つけることができた」「地域の人がつながって、そこに1人でも多くの人に関わることがとても大切だと思った」等の感想が寄せられ、実際に今住んでいる地域で災害が起きたらどうすればよいかをイメージしながら進めることで、より実践に近い形で「自分事」として考えることができました。



《受講者の声》

- ・具体的な例や実践の話があり、イメージしやすかった
- ・岩手が目指す教育について大変参考になった
- ・住んでいる地域の様々な災害について想像し、何ができるかを考えることができた
- ・学校で作った防災マップとDIGを組み合わせるなど、活動の幅を広げることができそう
- ・地域の防災意識向上のために非常に参考になった

《受講者の評価》

A (有意義)	96.3%
B (どちらかといえば有意義)	3.7%
C (あまり有意義でない)	0%
D (有意義でない)	0%

《担当者(齋藤)から》

人と人のつながりがいかに大切かということを感じることができた研修会でした。受講者同士のつながりを今後も生かし、情報交換等を行いながら講座・イベントを企画していただきたいと思います。